

令和 6 年度
筑波大学基金活動
及び実績報告

国立大学法人筑波大学
事業・リレーション推進室

2025年7月22日（水）

令和6年度 活動の概要

筑波大学基金の設置から15年目にあたる令和6年度は、開学50周年という大きな節目を経て、新たなステージを見据えた取組を本格的に始動した年となりました。本学の更なる発展と社会的役割を十分に果たすため、幅広いステークホルダーとの連携を強化しつつ、多様なプログラムを通じて寄附募集活動を展開しました。

令和6年度は、茨城県内の企業様から5億円のご寄附を頂戴するなど、寄附受入額において極めて高い成果を上げることができました。クラウドファンディング型寄附としては、システム情報系宇宙開発工学学域学生が実施した「結プロジェクト」により約230万円を、「アカハライモリの全ゲノム解読」を目的とした研究資金約500万円を集めるなど、学生及び研究者の主体的な活動を支援する体制を構築しました。

学内施設の整備を目的とした寄附では、現物寄附による体芸テニスコートの人工芝の張り替えが完了し、謝意として「TOA 桐の葉テニスの杜」と名称付与しました。また、附属病院に対する寄附では、救急医療体制の充実を目的とした支援として、総額3,650万円のご寄附を頂戴しました。さらに、新たな寄附募集のあり方としては、令和7年度に完成予定「未来社会デザイン棟」のシンボル棟に整備する部屋への命名を返礼とする寄附募集を実施し、総額1,000万円のご寄附を頂戴しました。

海外展開関連では、筑波大学マレーシア校の開設に際し、マレーシア国にゆかりのある篤志家の方より、現地学生の修学支援を目的として2,000万円のご寄附を頂くなど、グローバルな視点での寄附の広がりもみられました。

令和3年から開始した「フューチャーシップ シート プロジェクト (FSP)」では、令和6年度に4脚(4件)の成約を獲得し、プロジェクト開始以降、全43脚中35脚が成約済みとなりました。本プロジェクトは、バス停ベンチに寄附者の想いを刻み公開することで寄附文化の醸成にも貢献する取り組みでもあるため、残り8脚についても引き続き寄附募集を行っています。

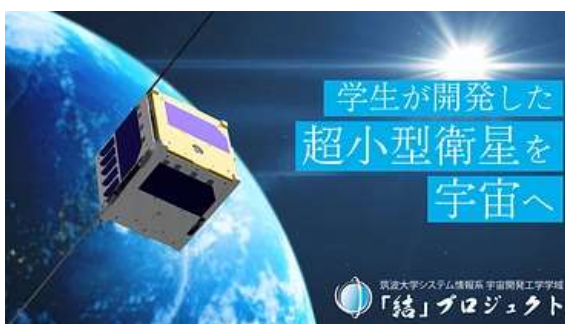
今後も、教育・研究・社会貢献の各分野において多様な資金ニーズに対応すべく、ステークホルダーの皆様との信頼関係を基盤に基金運営を推進してまいります。

令和6年度筑波大学基金 活動報告

■ クラウドファンディング

本学は Ready for 社と提携してクラウドファンディングを展開しており、令和6年度は2件実施しました。

○ 学生が開発した超小型衛星を宇宙へ（結プロジェクト（学生団体））



筑波大学「結」プロジェクトは、学生が主体となって取り組む超小型人工衛星（CubeSat）の開発プロジェクトです。宇宙開発を通じた人と人との繋がりや創出を目指し、多くの学生が熱意をもって活動しています。衛星の打ち上げ費用の一部についてクラウドファンディングを通じて広く社会から寄附を募りました。

寄附額： 2,316,000 円（令和6年7月） / 目標金額 500,000 円 達成率：約 463%

○ アカハライモリの全ゲノム解読へ：超再生術の“秘伝書”を読む！（千葉 親文教授(生命環境系)）



千葉 親文 教授は、ヒトの約10倍という巨大な全ゲノムをもつ日本固有種アカハライモリのゲノム解読に取り組んでいます。再生医療や生命科学の発展に資する本研究の推進のため、クラウドファンディングを通じて広く社会から寄附を募りました。

寄附額： 5,184,000 円（令和6年9月） / 目標金額 4,000,000 円 達成率：約 130%

■ フューチャーシップシートプロジェクト (FSP : Futureship Seat Project)



令和3年10月から本学キャンパス内のバス停ベンチのリニューアルに伴い、寄附者の氏名とメッセージの入ったプレートを取り付けたベンチ (Futureship Seat) を設置するプロジェクトを開始しました。真の総合大学の実現に取り組む本学において、学生とステークホルダーの皆様がより密に結ばれることを目的としています。



販売価格	1,510,000 円※ / 1 脚
設置場所・脚数	13 か所、43 脚 (新設除く)
令和4年度入金額	12,080,000 円 (8 脚)
令和5年度入金額	16,610,000 円 (11 脚)
令和6年度入金額	5,540,000 円 (4 脚)
→残り4か所 8脚	

■ 体芸テニスコート (クレー) を TOA 桐の葉テニスの杜と命名 (現物寄附)



東亜道路工業株式会社様より、現物寄附として軟式テニスコートの改修支援を受け、「TOA 桐の葉テニスの杜」が整備されました。異なる3種類のサーフェス (人工芝、オイルサンド、真砂土) を備え、共同研究や授業、筑波大学軟式庭球部の練習拠点として活用されます。令和6年11月には除幕式を実施し、森下社長、永田学長をはじめ関係者約50名が参列。感謝状の贈呈やネーミング看板の除幕も行われ、今後の研究とスポーツの発展を誓いました。

現物寄附評価額 : 18,700,000 円 (令和6年11月)

令和6年度寄附受入・支援等状況

■ 令和6年度寄附受入実績

集計期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

○ 現金による寄附 795,063,596円 6,388件

区分	寄附額（単位：円）		件数	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
一般基金 支援1. 教育・人材育成 支援2. 国際交流 支援3. 学術研究 支援4. 地域貢献 指定無し 用途特定 世界を変えよう基金（MDW基金）…※1 附属学校 つくば機能植物センター	627,329,578	124,825,589	4,691	2,922
特定基金				
創基151年筑波大学50周年記念基金	12,800,000	151,827,631	107	2,597
サッカー場（旧第1サッカー場）の改修	10,000	2,370,000	1	6
陸上競技場の改修	238,000	1,551,000	34	46
体芸テニスコートの改修	5,000	9,035,000	1	165
50周年基金ただいま筑波プロジェクト	0	26,155,000	0	1,282
フューチャーシップシートプロジェクト	5,540,000	10,570,000	5	7
筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業				
TSA/Sport Complex for Tomorrowの整備	55,017,270	53,066,853	552	289
附属病院支援事業	49,473,500	13,530,000	60	56
紫峰会基金	22,455,000	41,710,213	796	989
留学生後援会基金	669,000	2,208,000	36	162
修学支援事業基金（「今川FUTURE基金」を含む…※2）	21,051,000	17,473,000	78	60
研究者の卵サポート基金	370,000	765,000	25	13
現物資産活用基金…※3	105,248	105,202	2	2
合計	795,063,596	455,192,488	6,388	8,596

※1…「世界を変えよう基金」は、一般基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学『世界を変えよう基金』（MDW基金）運営要項」に基づき運用しています。

※2…「今川FUTURE基金」は、修学支援事業基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学学生奨学金制度つくばスカラシップに関する要項」に基づき運用しています。

※3…現物資産活用基金は、有価証券（R1.12.18寄附受け）の配当金です。

■ 令和6年度 一般基金からの支援・支出状況等

○ 使途特定分を除く一般基金からの支援 (単位：円)

事項	計画額	執行額
学園祭	1,000,000	1,000,000
宿舍祭(ヤドカリ祭)	300,000	411,400
スポーツ・デー	500,000	495,546
つくばスカラシップ	4,300,000	35,300
附属学校教育局支援	2,880,000	2,880,000
計	8,980,000	4,822,246

※実績額が0円の事項は過去に支援した残額より支出

○ 使途特定分を除く一般基金からの支出 (単位：円)

事項	計画額	執行額
ファンドレイザー人件費	4,000,000	0
非常勤職員人件費	1,300,000	0
活動(交際)費	1,200,000	1,185,362
入金処理手数料等(返礼品等を含む)	5,000,000	2,359,502
プロジェクト運営費	2,300,000	538,927
計	13,800,000	4,083,791

○ 受入れた基金の拠出金からの支出 (単位：円)

事項	計画額	執行額
人件費	0	8,253,929
計	69,739,647	8,253,929

※拠出金は

○ 一般基金に受け入れた、寄附者の意向に基づく使途特定寄附金からの支援

支援事項	支援実績額(単位：円)
国際統合睡眠医科学研究機構支援	136,500
ピアノ愛好会支援	150,000
つくば茶寮支援	213,573
法科大学院支援	100,000
つくば植物機能イノベーション研究開発センター(T-PIRC)支援	390,000
健幸ライフスタイル開発研究センター支援	500,000
ヒューマンエンパワーメント推進局支援	500,000
ゆりのき保育所支援	500,000
研究支援(数理工学系)	300,000
研究支援(図書館情報メディア系)	196,667
研究支援(システム情報工学系)	100,000
研究支援(人間系)	5,000,000
研究支援(数学系)	110,000
研究支援(理工情報生命系)	150,000
ホームカミングデー支援	300,000
筑波大学アーカイブズ支援	200,000
ウクライナ支援	100,000

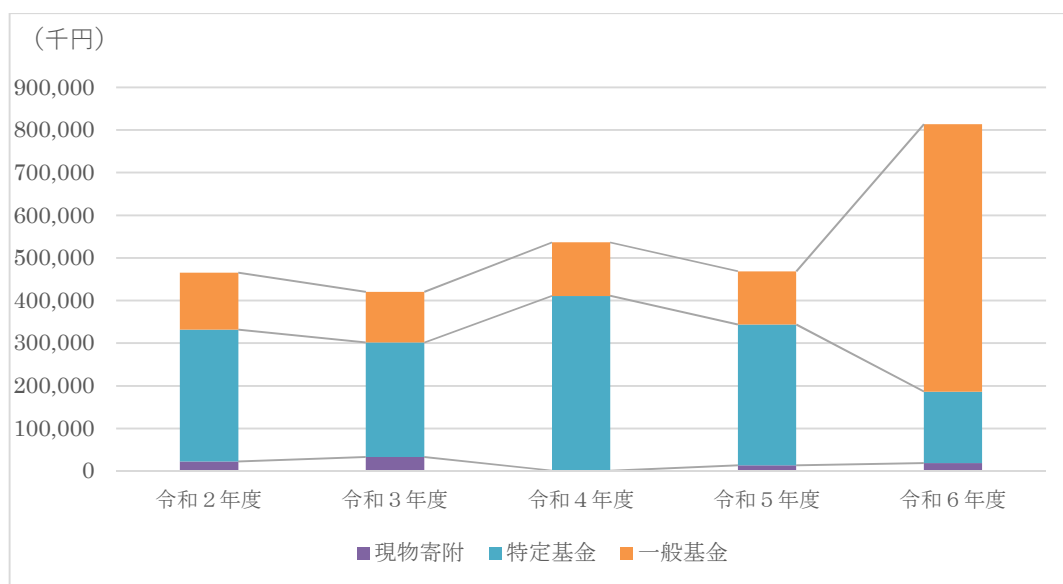
附属小学校支援	16,592,050
附属中学校支援	1,465,475
附属高等学校支援	1,141,000
附属坂戸高等学校支援	11,000,000
附属駒場中・高支援	39,445,583
附属視覚特別支援学校支援	4,453,800
附属桐が丘特別支援学校支援	223,000
附属大塚特別支援学校支援	660,000
国際交流会館（サクラテラス）支援	500,000,000
執行額計	583,927,648

○ 「世界を変えよう基金」からの支援

支援事項	支援実績額（単位：円）
社会・文化貢献事業支援	60,000
大学附属図書館図書購入支援	121,193
ボランティア活動支援	300,000
鈴木奨学金	1,560,000
学群グローバル科目「地球規模課題へのアプローチ」への支援	120,000
「ヨーロッパ絵画を楽しむ会」アシスタント奨学金	23,040
執行額計	2,184,233

■現物寄附 1件 体芸テニスコート改修（評価額 18,700,000 円）

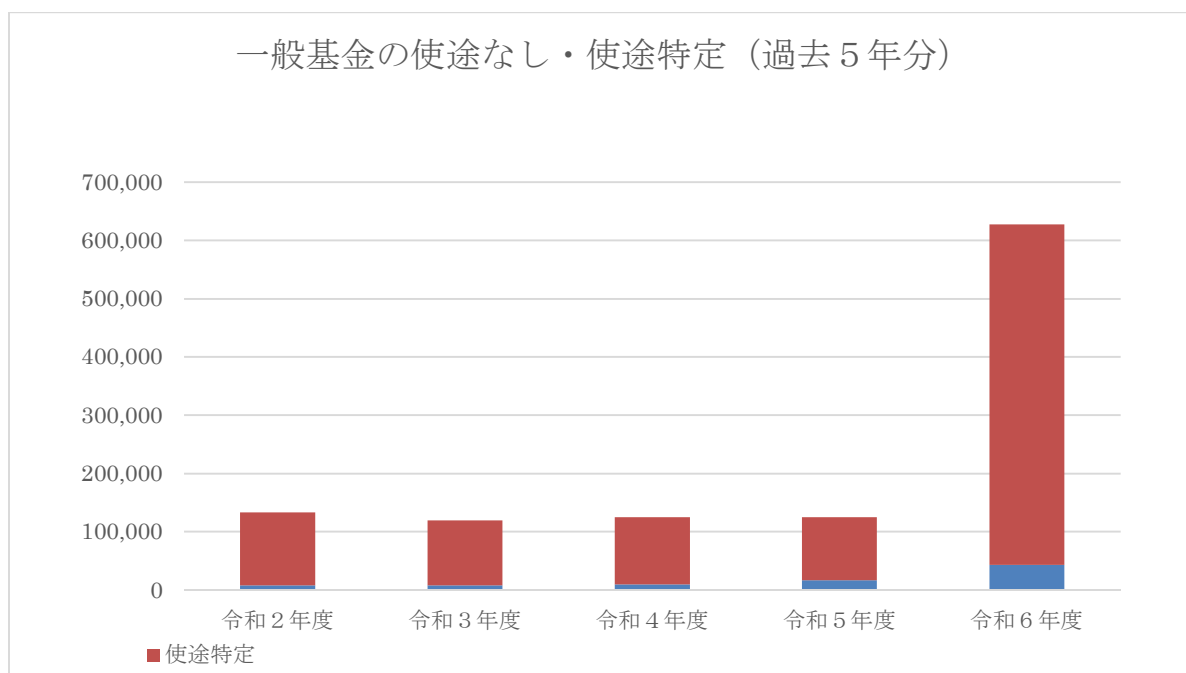
■年度別寄附額（過去5年分）



(千円)

各基金	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般基金	133,250	119,199	124,967	124,826	627,330
特定基金	308,923	268,203	409,980	330,367	167,734
現物寄附	22,683	33,104	1,200	13,519	18,700
合計	464,857	420,507	536,147	468,711	813,764

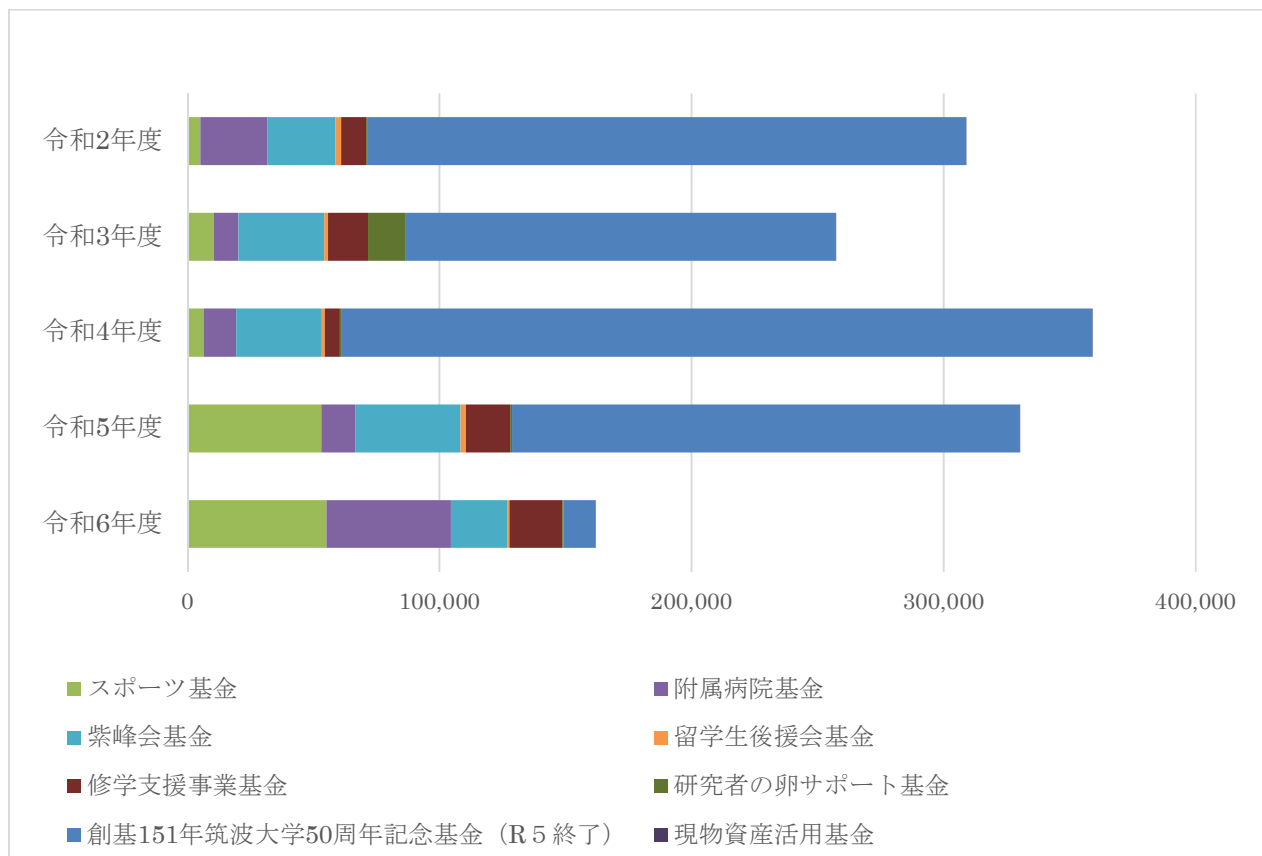
○ 一般基金年度別寄附額（過去5年分）



(千円)

寄附目的	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定なし、 支援1~4	8,368	7,515	9,916	17,114	43,402
用途特定	124,883	111,684	115,051	107,811	583,928
合計	133,250	119,199	124,967	124,926	627,330

○ 特定基金年度別寄附額（過去5年分）



(千円)

各特定基金	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
スポーツ基金	5,116	10,390	6,349	53,067	55,017
附属病院寄附金	26,617	9,879	12,966	13,530	49,474
紫峰会基金	26,954	34,020	33,608	41,710	22,455
留学生後援会基金	2,281	1,405	1,533	2,208	669
修学支援事業基金	9,892	15,804	6,009	17,473	21,051
研究者の卵サポート基金	350	15,147	745	765	370
創基151年筑波大学50周年記念基金※	237,707	170,670	297,879	201,509	12,815
現物資産活用基金	6	16	14	105	105

※「創基151年筑波大学50周年記念基金」には、「サッカー場（旧第1サッカー場）の改修」・「陸上競技場の改修」プロジェクト、R5年度までのFSPも含まれます。

○ 預金利息

(単位：円)

行名	普通預金利息
三井住友銀行 つくば支店	20,220
三菱 UFJ 銀行 本店	29,843
常陽銀行 研究学園都市支店	206,396
筑波銀行 つくば営業部	81,655
合計	338,114

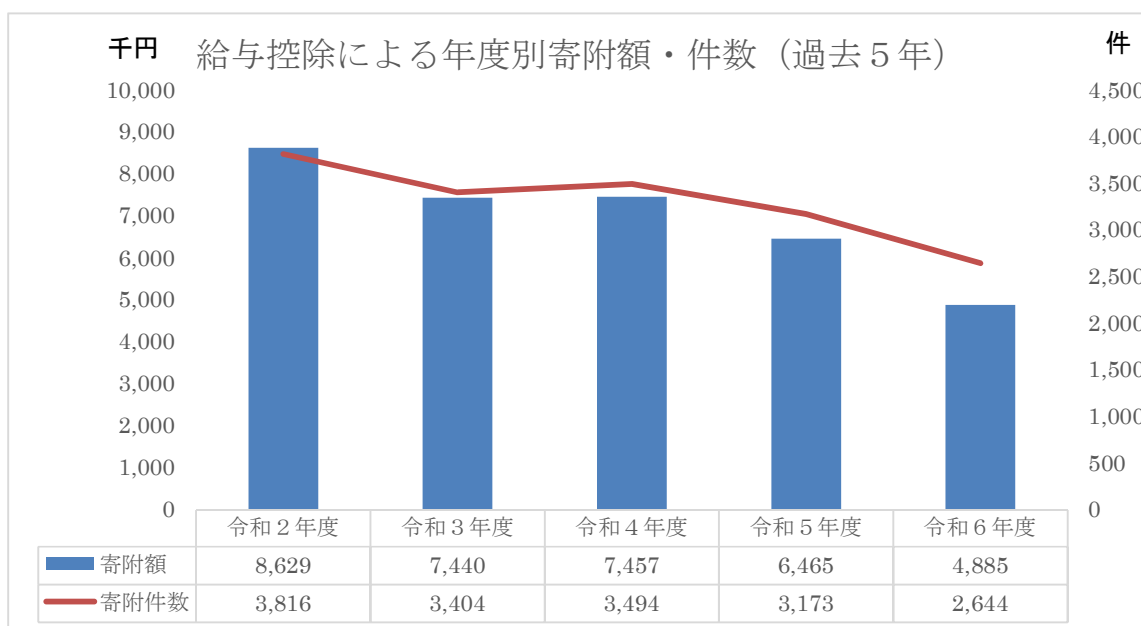
○ 教職員からの給与控除による寄附実績

件数 延べ 2,644 件

寄附額 計 4,884,600 円

職種	登録者数
役員等	8
教員	102
事務職員・技術職員（非常勤職員を含む）	116
附属病院看護師	5
附属学校教員等	16
合計	247

※令和 6 年度 3 月末日時点のデータ



■ 収益事業等

○ 筑波大学オリジナルボルドーワイン事業

ボルドー大学との Campus-in-Campus (CiC) 協定締結を記念し、平成 27 年度から同大学の関連シャトーで醸造しているワインの輸入販売を行っています。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等によりワインの輸入を見送りましたが、令和 3 年度は輸入を再開し、株式会社カクヤスのオンラインショップ及び株式会社カスミの筑波大学店・プルシェつくばキュート店の 2 店舗にて販売を行いました。また、大学公式グッズをオンラインで販売するサイト (TSUKUBA-SHOP) への掲載を予定しています。

販売商品

商品名	販売本数	参考価格
シャトー・クーアン ルージュ (赤) 2015 (750ml)	479 本	3,982 円 (税込)
シャトー・クーアン ブラン (白) 2018 (750ml)	194 本	4,980 円 (税込)

売上額 3,090,082 円 (税込) (令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月)

販売会社 株式会社カクヤス及び株式会社カスミ

○ 筑波大学オリジナルコーヒー事業

本学のグローバル戦略及び世界展開事業の一環として、平成 27 年 4 月にサンパウロオフィスを開設するとともに、サンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結しました。その記念として、サンタ・クルス病院の理事長が所有する農園のコーヒーを輸入し、株式会社サザコーヒー (本社：茨城県ひたちなか市) と提携し、平成 28 年度から販売を開始しました。

なお、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしています。

販売商品

商品名	販売価格
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (単品)	230 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (5 パック)	1,150 円 (税込)
つくばサイエンスブレンド カップオン (単品)	270 円 (税込)
つくばサイエンスブレンド カップオン (5 パック)	1,350 円 (税込)
筑波大おいしいかすてら	1,500 円 (税込)

売上額 8,760,960 円 (税込) (令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月)

販売会社 株式会社サザコーヒー

寄附額 令和 6 年度売上分に対し 1,586,592 円 (販売価格の 20%)

※筑波大学おいしいかすてらは 10%

○ お菓子プロジェクト①「つくば茶寮」「ロケットクレープ」

地元企業と連携し、本学の研究成果等と県内の食材を利用したお菓子作りを通じて社会的価値へと変換していくことを目的として、洋菓子店のコート・ダジュール（つくば市）、野口熊太郎茶園（茨城県境町）及び本学健幸イノベーション開発研究センター（当時）の3者で協業し、「つくば茶寮」の製造・販売を行いました。

また、令和6年度はつくば市の協力のもと、新たに「ロケットクレープ」の開発を行い、茨城県のご当地グルメを決める「シン・いばらきメシ総選挙」スイーツ部門にエントリーしました。

「つくば茶寮」

販売価格	ばら売り 149 円 3 個入り 491 円 5 個入り 926 円（各税抜）
売上額	4,847,468 円（税込）（令和5年8月～令和6年7月）
寄附額	令和6年度 213,573 円（小売り:売上額の5%、卸売り:売上額の2%）

「ロケットクレープ」

販売価格	741 円（税抜）
売上額	1,908,816 円（税抜）（令和6年9月～令和7年3月）

○ お菓子プロジェクト②「FUTURE SENBEI 一筋」

つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）で生産した米を原材料に県内の米菓製造業者の椎名米菓（取手市）と協業し、「FUTURE SENBEI 一筋」（醤油、砂糖、にんにく醤油各2枚 合計6枚入り）及び、「FUTURE SENBEI きらめき」シリーズ（玉露、のりしお、コーヒー、カレー、味噌ピーナッツ）の製造・販売を行いました。

販売価格	600 円 or 700 円（税込）
販売店舗	椎名米菓、大学公式オリジナルグッズショップにて販売
売上額	1,347,400 円（税込）（令和6年4月～令和7年3月）
寄附額	令和6年度 134,740 円（売上額の10%）

○ お菓子プロジェクト③「つくば大学芋」

令和6年度は、つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）が国分関信越株式会社及び株式会社カスミと連携し、同センター農場で収穫された「規格外さつまいも」を活用した大学芋の製造・販売を実施しました。本取り組みは、規格外品の有効活用による食品ロスの削減に貢献するとともに、地域社会と大学が連携する新たなモデルの構築を目指したものです。また、商品の売上の一部は筑波大学基金に寄附され、学生支援や研究支援など教育研究活動の充実に役立てます。

販売価格	298 円(税抜)
販売数	5,101 個
寄附実績	令和6年度 76,004 円(売上額の5%)

○ 筑波大学公式オリジナルグッズ販売事業

株式会社デューク・コーポレーションと筑波大学公式オリジナルグッズの販売及び店舗運営委託契約を締結し、令和4年2月からオフィシャルオンラインストア「TSUKUBA-SHOP」を開設し、公式グッズの販売を開始しました。なお、筑波大学公式オリジナルグッズの全売上の10%を販売ロイヤリティとして、本学へ納入されることとなっています。令和5年度から、入学式・卒業式や留学生向けのイベントなどを開催する際に併せて、対面でのグッズ販売を本格化したことによって前年比100%以上となりました。

販売ロイヤリティ額 令和6年度売上分に対し 2,899,877円

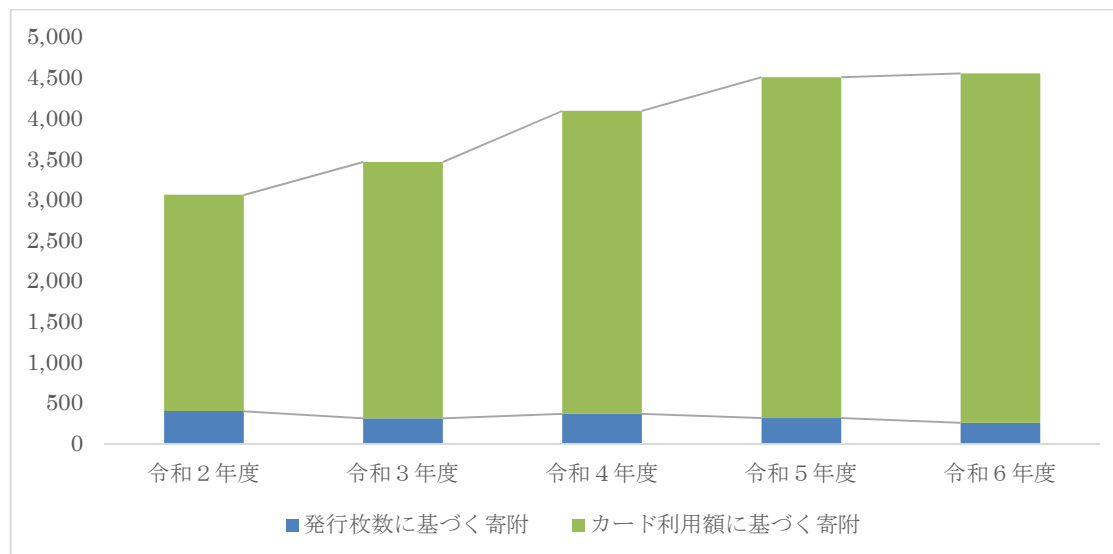
○ 筑波大学カード事業

三井住友カード株式会社と提携契約を締結の上、平成27年度から大学関係者を入会対象とするクレジット機能付き大学カード（筑波大学校友会カード）事業を開始し、平成29年1月、「筑波大学校友会」が学外に設立されたことで、「筑波大学カード」に改称しました。5年間でカードを4,000枚発行する目標を掲げ、5年目の令和元年度に目標数を達成し、その後も着実に発行枚数が増加しています。

本カードの最大の特徴は、大学近辺の商店や飲食店、全国展開の大型店、ホテル等約300の店舗・施設においてカードの提示により会員特典を受けられることです。

なお、三井住友カード株式会社からは、本カードの発行枚数及び、会員のカード利用額に応じた金額を定期的に筑波大学基金にご寄附いただいています。

筑波大学カード寄附額の推移（過去5年分）



(千円)

三井住友カード	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
発行枚数に基づく寄附	399	311	367	316	258
カード利用額に基づく寄附	2,660	3,151	3,724	4,189	4,296
合計	3,059	3,462	4,092	4,505	4,554

累計受付件数 令和7年3月末現在 9,191件

寄附額

令和6年度内の筑波大学カード発行数に基づくあっせん手数料 257,950円
令和6年度内の筑波大学カード利用額に基づく取扱手数料 4,295,794円

○ **スーツ事業**

平成28年度から学生・教職員等の福利厚生のため、学生の入学時や就職活動等で必要となるスーツ等の割引販売を紳士服大手企業4社（AOKI、コナカ、洋服の青山、はるやま）と提携しました。本事業は、割引販売にかかる広報に大学が協力することにより、提携各社から商品販売価格の一部を手数料として納入いただくもので、受入金は学生支援等に充当する予定としています。

手数料額 令和6年度売上分に対し 2,619,238円（4社合計）

○ **自転車事業**

学内で発生する放置自転車の減少を目指して、自転車事業を開始した。この事業は、大学公認自転車の新車販売（令和4年6月開始）と、学内で不要になった自転車を活用したサブスクリプション事業（月極レンタサイクル 令和4年12月開始）との2事業を展開しています。

公認自転車の販売については売上の10%が寄附として入金されます。

事業実施会社：株式会社VICTAS
事業運営会社：株式会社メイゲンソ
事業委託会社：サイクルシック（CYCLE CHIC）

公認自転車販売台数 53台（寄附額:59,400円×53台×0.1=314,820円）
※令和6年5月21日入金

サブスクリプション自転車 約400台

○ **ショッピングプラザ（サクラテラス）事業**

学生及び教職員等の福利厚生、利便性の向上に資することを目的として、平成30年10月に筑波キャンパス南地区内にカスミ、サザコーヒーの2店舗を核とするショッピングプラザ（サクラテラス）をオープンしました。

カスミでは、本学の「つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）」で生産されたお米やオリジナルワイン、煎餅の販売を行った。令和5年3月から、筑波大学公式オリジナルグッズの店頭販売を開始しました。

サザコーヒーでも、季節ごとのイベントや定期イベント、新商品の先行販売会等を実施しており、学内関係者や近隣住民の方々の憩いの場、交流の場として定着しつつあります。

事業期間 平成30年4月4日～令和20年9月30日

■ その他の寄附募集活動

○ 有価証券による寄附

平成 30 年の税制改正により、個人からの株式等の寄附について非課税措置の手続きが簡便化されたことを踏まえ、令和元年 12 月に有価証券による寄附を受入れました。この寄附は、有価証券の配当金をもって本学教育研究の活動支援に使用するものであり、筑波大学基金内に新たに設けた「現物資産活用基金」として運営を行っています。また、令和 4 年 10 月 7 日に追加寄附を受入れました。

有価証券の受入れ拡大を目指し、外訪時における税制上の支援を強化するため、税理士及び公認会計士の資格を有する本学修了生と業務委託契約に向けた協議を開始しました。

令和 6 年度の受入実績 なし

○ 株式会社 READYFOR との連携

・ 遺贈による寄附への対応

令和 3 年 7 月から、株式会社 READYFOR が提供するサービス「READYFOR 遺贈寄附サポート」の利用を開始しました。これまでの三井住友銀行（相続アドバイザーー遺言信託業務）のサポートに加え、遺贈寄附の検討者に対する相談対応窓口を拡充しました。

令和 6 年度実績 なし

○ 古本募金による寄附

古本募金については、現在学内に設置された古本回収ボックスによる寄附と集荷による寄附の 2 通りの方法で実施しています。

みつばち書店（学内古本回収ボックス）

寄附額 令和 6 年度 206,250 円

株式会社バリューブックス（集荷による寄附）

寄附額 令和 6 年度 284,277 円 **受入件数** 40 件

■ 地域・社会との連携

○ 学長を囲む会

平成 21 年から大学と地域を結びつけることを目的に「学長を囲む会」をスタートしました。

メンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めました。会員数、参加者も増加し、毎回 100 名～150 名を集めて開催しています。

会員数 359 企業／団体（令和 7 年 6 月現在）

令和 6 年度の開催状況

- | | | |
|-------|------|---------------------|
| 第 1 回 | 日時 | : 令和 6 (2024) 年 6 月 |
| | 場所 | : 大学会館 |
| | 参加者数 | : 113 人 |
| 第 2 回 | 日時 | : 令和 6 (2024) 年 9 月 |
| | 場所 | : 大学会館 |
| | 参加者数 | : 109 人 |
| 第 3 回 | 日時 | : 令和 7 (2025) 年 1 月 |
| | 場所 | : 大学会館 |
| | 参加者数 | : 105 人 |

○ “筑波大学ビジネス交流会”「学長を囲む会」(海外開催分)

本学海外オフィスのリソース及び、同窓生のご協力等を活用し、海外の日系企業をターゲットとして“筑波大学ビジネス交流会”「学長を囲む会」 in (国名) と銘打ち、令和 6 年度より本格的に活動を開始しました。日本で開催するものに準じた形式としつつ、現地のニーズに応じたテーマやネットワーキング要素を取り入れることで、現地関係者との結びつきを強化しています。

2024 年 9 月 3 日 マレーシア (クアラルンプール) : 参加者約 60 名。

2024 年 12 月 7 日 台湾 (台北) : 参加者 44 名。

2025 年 1 月 30 日 ブラジル (サンパウロ) : 参加者 14 名。

2025 年 3 月 8 日 台湾 (台北) : 参加者 23 名。

今後も、本学の国際的な発信力とネットワークを活かした海外展開を推進していく予定です。

○ アソシエイトに関する取組

本学では、現金による寄附だけでなく、「時間」や「労力」といった形で大学を支援するボランティア活動も、重要な“貢献”と捉えています。

その一環として、大学では公認ボランティア制度「アソシエイト」を設けており、教職員・学生・卒業生・地域住民等が、教育研究サポート・行事運営・業務補助など様々な場面で大学を支えるしくみを整えています。

【近年の実績】

2024年度：75名

2023年度：57名

2022年度：66名

■ 寄附者への謝意表明

○ 寄附者への感謝の集い

平成30年度から、寄附者への感謝の意を表するとともに、寄附者と大学との交流を促進し、繋がりを強化する機会として、寄附者への感謝の集い「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING」を開催してきました。令和6年度は、個人で3万円から5万円未満の一般寄附者に対して、大学公式グッズの風呂敷及び基金活動報告書を、個人5万円以上、法人10万円以上の一般寄附者に対しては、筑波大学オリジナルワイン及び基金活動報告書を、対象となる437名に送付しました。

また、過去5年間で累計1,000万円以上の寄附をいただいた高額寄附者に対しては、「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING for SPECIAL」を対面形式で開催しました。

■ 卒業生との連携

○ ホームカミングデーの実施

例年、卒業生同士で旧交を温め、大学との関係も深めていただく目的で、学園祭の期間中に卒業生を大学に招待するホームカミングデーを開催しています。

令和6年度（第27回）ホームカミングデー 開催概要

開催日・場所 令和6年11月3日（日） 筑波大学 中央体育館

参加者数 約310人

実施内容 オリリンピック選手からのメッセージ動画上映、大学にまつわるクイズ大会を実施

○ SNSによる情報発信・連携強化

本学と卒業生・修了生、在学生、保護者、元教職員、教職員、課外活動団体及び各同窓会といった本学関係者との連携強化を目的として、平成24年4月からSNSを運用しています。

登録状況（令和7年3月末現在）

サービス名称（ターゲット層）

生涯メールアドレス（卒業生向け） 登録者数：約45,000人

LINE（保護者向け） 登録者数：約12,000人

X（旧Twitter）（一般向け） フォロワー数：約4,900人

Facebook（一般向け） フォロワー数：約450人

Instagram（一般向け） フォロワー数：約300人

○ 茗溪会

明治15年4月29日 当時の東京師範学校卒業生によって設立され、平成24年4月から一般社団法人茗溪会として活動しており、本学の開学当初から、多くの支援をいただいています。

また、平成30年4月に「茗溪・筑波産業人倶楽部」を発足させ、本学卒業生の産業人を中心したネットワークの構築と本学学生に対する支援を開始しました。

同会の目的として、次の3点を掲げています。

- (1) 会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図る
- (2) 国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力する
- (3) 学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する

会員数 約55,000名

茗溪会からのご支援

茗溪・筑波産業人クラブの支援によるキャリアカフェを開催しました。

ホームカミングデーへの支援 100,000円

○ 筑波みらいの会

「筑波みらいの会」とは、平成24年度に立ち上げられた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、平成25年5月の総会において正式に発足したものです。令和6年度は、11月開催のオンラインホームカミングデーへの支援をいただきました。

同会は設立意義として次の3点を掲げています。

- (1) 会員同士が連携・交流すること
- (2) 会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
- (3) 大学の成果・情報を会員に提供すること

筑波みらいの会からのご支援：ホームカミングデーへの支援 100,000円

○ 筑波大学校友会

筑波大学校友会（会長：江崎玲於奈）は、筑波大学の卒業生・修了生、在学生及び教職員等を構成員として、平成29年1月に設立されました。令和4年度は、ホームカミングデーへの支援、学群卒業生への学位記収納ホルダの賛助、校友会江崎賞の授与の他、学生のキャリア形成に繋がる交流事業へもご協力いただきました。

同会の実施事業については、次の3点を掲げています。

- (1) 会員相互の交流と親睦に寄与する事業
- (2) 筑波大学との連携及び協力を推進する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

会員数 1,524名（令和7年3月現在）

校友会からのご支援：

- ・ ホームカミングデーへの支援 100,000円
- ・ 学位記ホルダ 学群生用：300,000円相当
- ・ 校友会江崎賞 学群/学類/学位プログラム等から62人 賞状及び副賞：152,000円相当
- ・ FUTER 基金奨学金のための寄附：10,000,000円